

# 令和3年度

自 令和3年4月 1日  
至 令和4年3月31日

## 事業報告書

一般社団法人 全国消防機器協会

## 目次

### 第1 組織・役員会等

- 1 正会員
- 2 賛助会員
- 3 総会、理事会その他の会議

### 第2 事業の概要

- 1 消防機器等の開発普及・技術向上に資する奨励に関する事項
- 2 関係機関・団体との連絡調整に関する事項
- 3 防災思想の普及及び消防機器等の広報活動に関する事項
- 4 消防機器等に関する情報提供業務に係る事項
- 5 調査研究に関する事項
- 6 社会貢献に関する事業
- 7 消防機器業の名称の普及推進に関する事業
- 8 消防機器海外展開支援センターの運営に関する事項
- 9 その他

# 令和3年度事業報告書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

一般社団法人 全国消防機器協会

## 第1 組織・役員会等

### 1 正会員

前年度の会員数	増	減	現在の会員数
15	1	0	16

※ (一社) 全国設備業 IT 推進会 (令和3年6月1日入会)

### 2 賛助会員

前年度の会員数	増	減	現在の会員数
83	2	1	84

※ タマダ(株)・(株)FS-JAPAN (令和3年4月1日入会)

※ (株)モリタユージー (令和3年3月31日退会)

### 3 総会、理事会その他の会議

#### (1) 定時総会

令和3年5月31日(月) 11時から、ホテルグランドパレス 白樺(3階)において開催し、次の議案について審議した。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症防止基本方針や緊急事態宣言の動向等を勘案し、事前に議案に関する資料及び書面表決書を送付し、当日、出席できない場合には書面表決書の提出を依頼した。

出席状況は、出席正会員団体11団体及び書面表決書の提出正会員団体4団体であり、定款第19条第2項の規定により、正会員全員の出席とみなし、総会は成立した。

#### ア 出席状況

##### ① 出席正会員団体(11団体)

一般社団法人日本火災報知機工業会	一般社団法人日本消火器工業会
一般社団法人日本消火装置工業会	一般社団法人日本消防放水器具工業会
一般社団法人全国避難設備工業会	一般社団法人日本消防ホース工業会
公益財団法人日本防災協会	一般社団法人全国消防機器販売業協会
一般社団法人日本消防標識工業会	一般社団法人日本消防服装・装備協会
ガス警報器工業会	

##### ② 書面表決書の提出正会員団体(4団体)

一般社団法人日本消防ポンプ協会	一般社団法人日本内燃力発電設備協会
一般社団法人日本照明工業会	一般社団法人インターホン工業会

##### ③ 出席理事・監事

会長(代表理事)	橋 爪 毅 氏	
副会長(理事)	金 森 賢 治 氏	遠 山 榮 一 氏

理事	板倉 秀樹 氏	横井 亮 氏
理事	菊地 信 氏	鷺根 成行 氏
理事	臼井 潔 氏	室田 哲男 氏
理事	星野 照生 氏	西川 敏彦 氏
常務理事	鈴木 和男 氏	
監事	長澤 良治 氏	折田 憲一 氏

イ 第1号議案 令和2年度事業報告書及び決算報告書の承認について

→ 原案通り承認された。

ウ 第2号議案 役員任期満了に伴う新役員を選任について

→ 理事及び監事の全員が本定時総会の終結をもって任期が満了する。

新たに、次期の理事及び監事を選任が行われ、次の各氏が選任された。

理事(新任)	伊藤 龍典 氏	一般社団法人日本火災報知機工業会	会長
理事(再任)	板倉 秀樹 氏	一般社団法人日本火災報知機工業会	副会長
理事(再任)	遠山 榮一 氏	一般社団法人日本消火器工業会	会長
理事(再任)	金森 賢治 氏	一般社団法人日本消火装置工業会	会長
理事(再任)	中島 正博 氏	一般社団法人日本消防ポンプ協会	会長
理事(再任)	横井 亮 氏	一般社団法人日本消防放水器具工業会	会長
理事(再任)	菊池 信 氏	一般社団法人全国避難設備工業会	会長
理事(新任)	白岩 強 氏	一般社団法人日本消防ホース工業会	会長
理事(再任)	臼井 潔 氏	一般社団法人全国消防機器販売業協会	理事長
理事(再任)	室田 哲男 氏	公益財団法人日本防災協会	常務理事
理事(再任)	星野 照生 氏	一般社団法人日本消防標識工業会	会長
理事(新任)	宮野 貴也 氏	一般社団法人庭一本消防服装・装備協会	会長
理事(再任)	鈴木 和男 氏	一般社団法人全国消防機器協会	事務局長
監事(再任)	長澤 良治 氏	元一般財団法人日本消防設備安全センター	専務理事
監事(再任)	折田 憲一 氏	ガス警報器工業会	専務理事

エ 報告事項

令和3年度事業計画及び収支予算について、報告がされた。

## (2) 書面による臨時総会

令和3年7月に折田憲一監事から退任の届出が提出されたことに伴い、折田監事の退任の承認及び補欠監事として権藤 浩氏（ガス警報器工業会専務理事）の選任について、書面による臨時総会を開催した。

提案した議案について、正会員16団体全員の同意が得られるとともに監事からも意見なしとの報告があり、8月2日付で、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項の規定に基づき、総会の決議があったものとみなした。

なお、権藤 浩監事の任期は、令和3年8月1日から令和5年度の定時総会の終結までとされた。

これに伴い、法人の登記事項変更手続きを行った。

### (3) 理事会

#### ア 第1回理事会(書面による開催)

新型コロナウイルス感染防止基本方針や緊急事態宣言等の動向等を勘案し、5月7日に開催を予定していた令和3年度第1回理事会は、定款第34条第2項の規定に基づく一般社団法人及び一般財団法人に関する法律96条による手続きにより、書面により行った。

理事全員の同意及び監事2名からの意見なしの回答を踏まえ、5月10日付で令和2年度事業報告書(案)及び令和2年度決算報告書(案)並びに顧問の推薦及び選任については、定款第34条第2項の規定に基づき、理事会の決議があったものとしてみなし、5月31日(月)に開催が予定されている定時総会に諮ることとされた。

#### (ア) 第1号議案 令和2年度事業報告書(案)について

理事13名全員の同意 監事2名からの異議なしの意見

→ 原案通り決議された。

#### (イ) 第2号議案 令和2年度決算報告書(案)について

理事13名全員の同意 監事2名からの異議なしの意見

→ 原案通り決議された。

#### (ウ) 第3号議案 顧問の推薦及び選任について

理事13名全員の同意 監事2名からの異議なしの意見

→ 顧問に清水 洋文氏を推薦し、選任することとされた。

#### イ 第2回理事会

令和3年5月31日(月) 11時45分からホテルグランドパレス 白樺(3階)において開催し、定時総会で選任された理事12名及び監事2名が出席し、次の議案の審議を行った。

#### 第1号議案 会長(代表理事)、副会長及び常務理事の選定について

次のとおり、選定された。

会長(代表理事) 金 森 賢 治 氏

副会長(理事) 伊 藤 龍 典 氏

副会長(理事) 遠 山 榮 一 氏

常務理事(業務執行理事) 鈴木 和 男 氏

また、事務局長には、鈴木常務理事を兼ねて任命することが承認された。

これに伴い、役員の変動に伴う法人の登記事項変更手続きを行った。

#### ウ 第3回理事会

令和3年10月26日(火) 13時30分からアルカディア市ヶ谷琴平7階において開催し、理事12名及び監事2名が出席し、次の議案の審議を行った。

なお、星野理事が欠席し、日本消防標識工業会斎藤事務局長がオブザーバとして出席した。

#### (ア) 第1号議案 令和3年度事業執行状況・収支状況の中間報告について

鈴木常務理事から報告があったのち、業務の執行状況及び収支状況についての確認が行われた後に、定款第23条第4項に基づく報告があったものとして、承

認された。

(イ) 第2号議案 令和4年新年名刺交換会・新年互礼会の開催について

事務局から、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、令和4年に予定している新年名刺交換会及び新年互礼会の開催に関する状況についての説明が行われたのち、審議検討が行われ、参加していただく皆様の安全確保を優先すべきことなどの意見で一致し、開催を見送ることとされた。

(ウ) 報告事項

- ① 令和3年度消防庁長官表彰について
- ② 令和3年秋褒章受章者について
- ③ 全国消防機器協会の行う社会貢献事業について
- ④ IFCAA2022YOKOHAMA 国際消防・防災展の開催予定について
- ⑤ 新日本消防会館建設工事について
- ⑥ 令和3年度〔後半〕の主な行事予定について
- ⑦ その他

エ 第4回理事会

令和4年3月15日(火)15時からアルカディア市ヶ谷霧島東(6階)において開催し、理事13名中12名及び監事2名が出席し、次の議案の審議を行った。

なお、星野理事が欠席し、日本消防標識工業会齋藤事務局長がオブザーバとして出席した。

(ア) 第1号議案 令和3年度業務執行状況及び決算見込みについて

定款第23条第4項に基づく報告があったものとして、承認された。

(イ) 第2号議案 令和4年度事業計画書(案)について

原案通り承認された。

(ウ) 第3号議案 令和4年度収支予算書(案)について

原案通り承認された。

(エ) 第4号議案 令和4年度会長表彰式・祝賀会等の開催について

機器協会における会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会の開催については、中止することが議決された。

なお、各団体においても、表彰祝賀会・総会懇親会の開催を中止する方向と表彰式については各団体の状況に応じて対応することとされた。

(エ) 報告事項

- ① 令和4年春褒章候補者・叙勲候補者の内示について
- ② 令和4年度の主な行事予定について

(4) 事務局長会議

原則として、毎月第2火曜日にヤクルト本社ビル内の会議室等において計12回開催し、各団体共通の課題について、協議、報告、情報の交換等を行うとともに、当協会の運営、その他業務について連絡調整を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令状況等を勘案し、書面開催を5回行っている。

また、会議資料については、会議終了後 PDF にし、事務局長等にメールにて送付した。

各回の開催日時・場所、協議事項等は、次のとおりである。

### **第1回事務局長会議 令和3年 4月6日(火) 15:00~16:00 (ヤクルト本社ビル6階大会議室)**

- 1 令和3年度社会貢献事業の実施について
- 2 令和2年度第3回理事会の開催について
- 3 日本消防検定協会との業務懇談会について
- 4 令和3年度第1回理事会の開催について
- 5 令和3年度機器協会会長表彰選考委員会の開催について
- 6 令和3年度定時総会・会長表彰式・祝賀・懇親会の取り扱いについて
- 7 中小企業経営力強化税制に関する証明書の発行について
- 8 「火災予防分野における各種手続の電子申請等の導入に向けた検討会」について
- 9 消防研究センター等の一般公開について
- 10 その他

### **第2回事務局長会議 令和3年5月11日(火) 【書面開催】**

- 1 令和3年度第1回理事会（書面による開催）について
- 2 令和3年度定時総会について
- 3 機器協会会長表彰の披表彰者の決定について
- 4 令和3年春の褒章について
- 5 会員名簿について
- 6 令和3年度消防長官表彰（消防庁関係業界功労）候補者の推薦について
- 7 その他

### **第3回事務局長会議 令和3年6月8日(火) 15:30~17:00(ヤクルト本社ビル6階大会議室)**

- 1 令和3年度第1回理事会（書面による開催）の報告について
- 2 令和3年度定時総会の報告について
- 3 令和3年度第2回理事会の報告について
- 4 令和3年度会長表彰について
- 5 令和3年度会長表彰式並びに祝賀会・定時総会懇親会の開催の中止について
- 6 新会員について
- 7 令和3年春の褒章の伝達式・拝謁について
- 8 令和4年春の叙勲・褒章上申候補者事前調査について
- 9 団体保険の更新等について
- 10 令和3年度版「会員名簿」作成に係る協力依頼について
- 11 令和3年度消防庁長官表彰候補者の推薦について
- 12 令和3年度の住警器等配付モデル事業実施地区の募集結果について

- 1 3 ベトナム国防災展について
- 1 4 その他

#### **第4回事務局長会議 令和3年7月7日(火) 15:30～17:00(ヤルト本社ビル 6階大会議室)**

- 1 令和3年度社会貢献事業の進捗状況について
- 2 令和3年度消防庁長官表彰について
- 3 令和3年春叙勲・褒章上申希望数調について
- 4 令和3年9月発行予定の会員名簿について
- 5 夏季の省エネルギーの取組について
- 6 オリンピック・パラリンピック開催時の対応について
- 7 その他

#### **第5回事務局長会議 令和3年8月10日(火) 【書面開催】**

- 1 令和3年度社会貢献事業(住警器等配付モデル事業)の実施地区について
- 2 令和3年度長官表彰候補者の推薦について
- 3 令和3年度長官表彰式について
- 4 令和4年春叙勲・褒章上申予定枠の調査の回答について
- 6 第69回消防技術者会議について
- 7 中小企業等経営強化法の改正及び経営力向上計画の電子申請について
- 8 その他

#### **第6回事務局長会議 令和3年9月7日(火) 【書面開催】**

- 1 令和3年秋褒章受章者の内示等について
- 2 令和3年春の叙勲・褒章候補者について
- 3 令和3年度の長官表彰候補者の上申について
- 4 令和3年11月5日(金)午後予定の長官表彰式の事務局の対応について
- 5 令和4年「新年名刺交換会」及び「新年互礼会」について
- 6 団体保険の更新状況について
- 7 令和3年度消防機器等に関する研修会の開催について
- 8 令和3年度の住警器等贈呈式・住宅防火対策講演会について
- 9 令和3年度第3回理事会について
- 10 一般社団法人全国設備業IT推進会の後援について
- 11 その他

#### **第7回事務局長会議 令和3年10月5日(火) 15:30～16:30(ヤルト本社ビル 6階大会議室)**

##### **※ 危機管理産業展2021の説明 東京ビックサイト担当者**

- 1 令和3年度第3回理事会について



- 2 令和3年度消防庁長官表彰候補者の上申及びその結果について
- 3 令和3年度消防庁長官表彰式について
- 4 令和3年秋褒章の伝達式等について
- 5 「令和4年消防高島暦」の作成と配付について
- 6 その他

**第8回事務局長会議 令和3年11月9日(火)15:30~16:30(ヤクルト本社ビル 6階大会議室)**

**※ IFCAA2022YOKOHAMA 国際消防・防災展について**

**横浜市消防局総務部総務課 IFCAA 運営担当事務局**

- 1 令和3年度第3回理事会の開催結果について
- 2 令和3年度消防庁長官表彰式について
- 3 令和3年度消防庁長官表彰受章者
- 4 令和3年秋の褒章受章者(消防関係)及び伝達式について
- 5 令和4年春の叙勲・褒章の上申について
- 6 令和4年「新年名刺交換会」・「新年互礼会」の開催中止について
- 7 IFCAA2022YOKOHAMA 国際消防・防災展の開催予定について
- 8 自主表示対象機械器具等の表示の様式のデータについて
- 9 令和2年度社会貢献事業の住警器等配付事業実施地区に対するアンケート調査について
- 10 全国消防機器協会の行う社会貢献事業について
- 11 令和4年秋の叙勲及び褒章の候補者について
- 12 その他

**第9回事務局長会議 令和3年12月3日(火)16:00~17:00(ヤクルト本社ビル 6階大会議室)**

- 1 令和4年度消防機器等関係者に対する機器協会会長表彰の候補者の推薦について
- 2 令和4年秋の叙勲・褒章候補者の推薦について
- 3 令和3年春及び秋の褒章伝達(全国消防機器協会主催)について
- 4 令和2年秋・令和3年春・令和3年秋の褒章受章者を対象とする「宮殿内見学と写真撮影」について
- 5 新年名刺交換会・新年互礼会の開催中止の案内について
- 6 機器協会ホームページの更新について
- 7 新日本消防会館の起工式について
- 8 その他

**第10回事務局長会議 令和4年1月13日(火)15:30~16:30(ヤクルト本社ビル 6階大会議室)**

- 1 令和4年秋叙勲・褒章上申希望者数調査について
- 2 令和4年度高齢者叙勲候補者調査について

- 3 令和2年秋、令和3年春及び令和3年秋褒章受章者宮殿内見学会の開催について
- 4 消防機器機関誌号外（令和4年1月発行）について
- 5 令和3年度後期の全国消防機器協会の主な行事予定について
- 6 令和4年度 定時総会等の予定について
- 7 その他

#### **第11回事務局長会議 令和4年2月8日(火) 【書面開催】**

- 1 令和4年及び令和5年の新年名刺交換会及び新年互礼会について
- 2 令和3年度 第4回理事会の開催について
- 3 第22回社会貢献委員会の開催について
- 4 機器協会会長表彰受賞候補者の関係書類の提出について
- 5 令和4年秋の叙勲・褒章上申候補者調査について
- 6 消防用機器等海外展開セミナーについて
- 7 令和4年度日本消防検定協会との消防機器業務懇談会について
- 8 令和4年度の重点業務やトピックス等の資料作成について
- 9 全国消防機器協会の令和4年度事業計画・収支予算について
- 10 その他

#### **第12回事務局長会議 令和4年3月8日(火) 【書面開催】**

- 1 令和4年度機器協会会長表彰候補者の推薦について
- 2 令和3年度第4回理事会について
- 3 令和4年度の社会貢献事業について
- 4 令和3年度の消防機器等に関する情報提供業務等について
- 5 令和4年秋の叙勲・褒章上申候補者枠の内示について
- 6 令和4年春の叙勲・褒章候補者の内示について
- 7 令和3年度消防用機器等海外展開セミナーの開催中止と資料の配信について
- 8 令和4年度の重点事項・トピックス等の作成・提出について
- 9 令和4年度各団体定時総会・表彰式・祝賀会等に予定について
- 10 その他

## **第2 事業の概要**

### **1 消防機器等の開発普及・技術向上に資する奨励に関する事項**

#### **(1) 叙勲・褒章**

##### **ア 令和3年春の褒章**

当機器協会から上申した次の4名の皆様が、4月29日付で黄綬褒章受章者として発令された。

鈴江 昭 氏            中央報知機（株）代表取締役

重盛 弘子 氏        エム・テー工業（株）代表取締役

小河原 光明 氏 セリアート (株) 代表取締役社長

久保山 英明 氏 デンヨー (株) 取締役相談役

また、令和3年春の褒章伝達式及び拝謁は、新型コロナウイルス感染症防止基本方針や緊急事態宣言等を踏まえ、開催が中止された。

なお、褒章・章記等については、4月28日(水)に消防庁から交付され、受章者の皆様にお渡しした。

内閣府賞勲局の計らいで、受章者本人でかつ希望者についての宮殿等見学会が予定されているが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、実施されていない。

#### イ 令和3年秋の褒章

令和3年秋の褒章候補者の内示が、令和3年8月31日に消防庁総務課表彰係からあり、11月3日付で黄綬褒章受章者として発令された。

黄綬褒章受章者は、次の3名の皆様である。

藤倉 大樹 氏 藤倉電気工業株式会社 代表取締役社長

中川 茂 氏 株式会社モリタテクノス 代表取締役社長

上田 勝也 氏 上田消防建設株式会社 代表取締役社長

また、令和3年秋の褒章伝達式及び拝謁は、新型コロナウイルス感染症防止基本方針や緊急事態宣言等を踏まえ、開催が中止された。

なお、褒章・章記等については、11月2日(水)に消防庁から交付された。

内閣府賞勲局の計らいで、受章者本人でかつ希望者についての宮殿等見学会が予定されているが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、実施されていない。

#### ウ 令和3年春及び秋の褒章受章者に対する伝達式について

(ア) 消防庁主催の伝達式及び拝謁については、中止された。

(イ) 令和3年春及び秋の褒章伝達を全国消防機器協会主催で、次のとおり実施した。

12月3日(金) 13時30分から、アルカディア市ヶ谷富士東の間(3階)において、次の様に実施した。

褒章受章者の皆様は、次の通りであり、5名の皆様が出席された。

##### 令和3年春黄綬褒章受章者

重盛 弘子 氏 エム・テー工業(株)代表取締役

久保山 英明 氏 デンヨー(株)取締役相談役

※欠席 鈴江 昭 氏 中央報知機(株)代表取締役

小河原 光明 氏 セリアート(株)代表取締役社長

##### 令和3年秋黄綬褒章受章者

藤倉 大樹 氏 藤倉電気工業(株)代表取締役社長

中川 茂 氏 (株)モリタテクノス代表取締役社長

上田 勝也 氏 上田消防建設(株)代表取締役社長

また、伝達式には、金森会長、伊藤副会長、遠山副会長、鈴木常務理事のほか、受章者の関係者及び関係団体の皆様が参加した。

伝達式(全国消防機器協会主催)の概要

開式

挨拶 (一社)全国消防機器協会会長 金森 賢治

伝達 金森会長からそれぞれ伝達された。

令和3年春黄綬褒章

令和3年秋黄綬褒章

記念写真撮影

懇談

閉式

エ 令和2年秋・令和3年春・令和3年秋の褒章受章者を対象とする「宮殿内見学と写真撮影」が、令和4年1月から2月に予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、中止された。

オ 令和4年春の叙勲・褒章について

令和3年7月2日に消防庁総務課から叙勲・褒章上申希望調査があり、各団体個別に調整を行い、その結果を踏まえ、7月9日に① 叙勲上申希望者数1名（全消販）及び② 褒章上申希望者数4名（消火装置1名、ポンプ協会1名、ホース工業会1名、防災協会1名）と報告した。

8月25日に叙勲上申者数1名及び褒章上申者数3名の内示があり、（ポンプ協会、消防ホース工業会、日本防災協会、全消販）から候補者を10月15日に上申した。

令和4年3月2日（水）に令和4年春褒章候補者として次の3名の内示があった。

白岩 強 氏 現 帝国繊維株式会社 代表取締役会長

山本 孝雄 氏 現 株式会社リバコトレーディング 代表取締役社長

長野 幸浩 氏 現 長野ポンプ株式会社 代表取締役

令和4年3月15日（火）に令和4年春叙勲（旭日双光章）候補者として次の1名の内示があった。

矢野 正剛 氏 元 一般社団法人全国消防機器販売業協会 理事長

現 矢野防災設備株式会社 代表取締役社長

なお、令和4年4月29日に発令される予定となっている。

カ 令和4年秋の叙勲・褒章について

令和3年12月14日付けで消防庁総務課長から、上申希望者数を1月18日（火）までに回答するように依頼があった。

なお、上申候補者については、団体ごとに確認を行い、個別に調整し、叙勲希望者0名、褒章希望者4名として、1月18日（火）に回答した。

2月18日に令和4年秋褒章上申数3名の内示があり、関係者（火報工業会、消火器工業会、ガス警報器工業会）に上申書類の作成等について依頼した。

## （2）消防機器等関係者表彰（機器協会会長定例表彰）

令和3年度の定例会長表彰は、令和3年5月31日（月）付で行われ、受賞者は、次に掲げる52名の皆様であった。

なお、5月31日（月）に予定していた表彰式・祝賀会は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言・拡大状況等を勘案し、開催を中止し、各受賞者の皆様には、表

表彰・記念品等を送付した。

### 令和3年度 消防機器等関係者表彰(機器協会会長表彰)受賞者名簿

(順不同敬称略)

団体名	受賞者氏名	所 属	役 職
火 報	原 弘次	アイホン株式会社	技術管理部技術管理課課長
	村田 順一	ニッタン株式会社	執行役員
	吉木 和久	パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社	エナジーシステム事業部システム機器ビジネスユニット 非住宅システム商品技術部 主幹
	細井 元	ホーチキ株式会社	取締役 専務執行役員兼海外本部長
	來迎 貴良	ヤマトプロテック株式会社	エンジニアリング2部統括 次長
	宮沢 昭慶	日信防災株式会社	防災システム本部保守システム部長
	古谷野 光夫	日本フェンオール株式会社	取締役 SSP営業統括部長
	岡村 武士	能美防災株式会社	取締役 専務執行役員 経理部長 兼 総合企画室・CSR推進室・総務部・ 人事部・情報システム室担当
消火器	三井田 朗	株式会社初田製作所	防災事業部 東京支店営業3課課長
	隅田 育宏	ヤマトプロテック株式会社	生産本部 大阪工場 工場長
	碓井 康	モリタ宮田工業株式会社	品質センター長
	本多 正宏	日本ドライケミカル株式会社	商品営業本部 関東支店 部長代理
	高橋 誠	マルヤマエクセル株式会社	防災事業部 東日本営業所 東京グループ担当
消火装置	矢吹 英政	株式会社コーアツ	常務取締役営業本部長兼大阪支社長
	四方 厚	エア・ウォーター防災株式会社	常務取締役 防災事業本部長
	入江 健一	ニッタン株式会社	技術生産本部技術開発部 担当部長
	原田 祐樹	ヤマトプロテック株式会社	取締役
	水谷 文彦	株式会社初田製作所	消設事業部 東京支店 支店長
ポンプ	岡田 泰次	田井自動車工業株式会社	代表取締役
	日向 勇美	トーハツ株式会社	代表取締役社長
	松本 明	日本機械工業株式会社	取締役 生産本部 本部長
	合田 努	株式会社モリタ	取締役執行役員 CF事業部長
	遠藤 正道	株式会社モリタテクノス	取締役 執行役員
放水	小野寺 博之	株式会社 立売堀製作所	札幌営業所 所長(課長)
	北浦 靖	株式会社北浦製作所	代表取締役 社長
	関 敦洋	東京サイレン株式会社	営業部課長代理
	宮内 健次	YONE 株式会社	営業本部SB営業グループリーダー

避難	川野 勝茂	トーヨー消火器工業株式会社	取締役
	金子 明	モリタ宮田工業株式会社	品質センター検査業務管理グループ
	小笠原 光政	株式会社スエヒロ	管理部執行役員 統括本部長
ホース	広川 登朗	芦森工業株式会社	防災技術開発部 専任マネジャー
	玉田 和之	櫻護謨株式会社	技術部消防技術課 担当課長
	白岩 強	帝国繊維株式会社	代表取締役会長
全消販	水谷 利広	三栄工業株式会社	代表取締役
	野村 明弘	株式会社渡辺武商店	湘南支店支店長
	横川 幸生	株式会社ヤマト商会	代表取締役社長
	泰地 浩幸	中央防災システム株式会社	代表取締役社長
防災	榊原 浩高	サンローズ株式会社	代表取締役社長
	吉良 雅敏	株式会社 丸昌	管理本部 生産管理課 チーフ
	藤原 清和	ドリームベッド株式会社	生産本部 生産技術部 参与
	熊本 卓司	株式会社ポップジャパン	代表取締役社長
	野口 久栄	秋田県室内装飾事業協同組合	理事長
	櫻井 彰一	山梨県室内装飾事業協同組合	理事長
	渡邊 弘一	神奈川県室内装飾事業協同組合	理事長
	松原 達也	キングラン・メイア株式会社	代表取締役社長
標識	高杉 晋一	株式会社東京化成製作所	製造部統括部長
	菊地 弘幸	東洋防災株式会社	東京支店長
服装	堀松 涉	株式会社 チクマ	代表取締役社長
	石川 修作	株式会社 赤尾	東京営業部部長
照明	辻 俊雄	東芝ライテック株式会社	技術本部 施設ライティング技術部長
ガス	高橋 良典	新コスモス電機株式会社	代表取締役社長
インターホン	金子 茂	能美防災株式会社	研究開発センター第2制御システム研究室長 兼品質統制室長付

### (3) 令和3年度消防庁長官(消防機器開発普及功労)表彰

令和3年度の消防庁長官表彰の推薦枠は、30名であり、各会員団体から推薦のあった候補者30名について、8月24日(火)に開催した表彰選考委員会の結果を踏まえ、候補者全員である30名について、8月31日付けで消防庁に消防庁長官表彰候補者として上申した。

また、9月30日に消防庁から表彰候補者30名について、表彰対象者としての決定通知が有り、同日に各会員団体あてに決定通知を送付した。

令和3年度消防庁長官表彰式は、11月5日(金)14時から、当協会関係の長官表彰及び日本消防設備安全センター関係の長官表彰・理事長表彰と合同で開催された。

なお、消防庁長官表彰の受章者は、次に掲げる30名の皆様である。

令和3年度消防庁長官表彰（消防機器開発普及功労）受章者名簿

所属 団体	氏名	企業・団体名	役職名	都道府 県
火報	おかむら たけし 岡村 武士	能美防災株式会社	代表取締役社長	東京都
火報	おおつか ひでのり 大塚 秀範	ニッタン株式会社	取締役上席執行役員	長崎県
火報	ほそい はじめ 細井 元	ホーチキ株式会社	取締役専務執行役員 海外本 部長	東京都
火報	かねだ いわお 金田 巖	日信防災株式会社	取締役 名古屋支店長	神奈川 県
消火器	なかじま みつお 中島 充夫	日本ドライケミカル株式会社	北陸支店 支店長	大阪府
消火器	みなみ よしあき 南 嘉昭	ヤマトプロテック株式会社	取締役 生産本部長	大阪府
消火器	おおぎ けんいち 大木 賢一	マルヤマエクセル株式会社	防災事業部 営業部 部長	千葉県
消火装 置	いりえ けんいち 入江 健一	ニッタン株式会社	技術生産本部 技術管理部 担当部長	東京都
消火装 置	ささき あつお 佐々木 敦雄	モリタ宮田工業株式会社	執行役員 生産本部 商品開 発部 部長	神奈川 県
消火装 置	やすはら つとむ 安原 勉	株式会社初田製作所	メンテナンス事業部 関西営 業課 営業担当	大阪府
消火装 置	あびこ しげる 安孫子 茂	ヤマトプロテック株式会社	エンジニアリング部 上席技 師	兵庫県
消防ポ ンプ	ふじした まさゆき 藤下 雅行	株式会社シバウラ防災製作所	顧問 管理本部 技術支援室	長野県
消防ポ ンプ	はたけやま とおる 畠山 徹	株式会社畠山ポンプ製作所	防災事業部 次長	静岡県
消防ポ ンプ	かとう まさよし 加藤 雅義	株式会社モリタ	取締役執行役員 生産本部長	兵庫県
消防ポ ンプ	えんどう まさみち 遠藤 正道	株式会社モリタテクノス	取締役執行役員	京都府
放水器 具	せんだ つねお 千田 常男	株式会社立売堀製作所	品質保証部 ISO担当部長	滋賀県
放水器 具	しまむら じろう 嶋村 次郎	株式会社横井製作所	品質管理部 品質管理担当	大阪府

避難設備	もとき 元木	えいち 栄一	オリロー株式会社	東北支店長	埼玉県
避難設備	いけまつ 池松	こういち 耕一	株式会社ニチボウ	取締役 防災コンサルタント 室 管掌	東京都
消防ホース	しらいわ 白岩	つよし 強	帝国繊維株式会社	代表取締役会長	千葉県
全消販	よしごえ 吉越	としあき 俊昭	株式会社米峰	代表取締役社長	新潟県
全消販	やなせ 梁瀬	よしゆき 義行	株式会社ヤナセファイテック	代表取締役社長	福岡県
防災協会	しらき 白木	ひであき 英明	コーテック株式会社	執行役員 生産部長	岐阜県
防災協会	ひらいで 平出	よしてる 喜照	合板技研株式会社	代表取締役	千葉県
防災協会	せきやま 関山	とよみつ 豊光	日本室内装飾事業協同組合連 合会	副理事長	福岡県
防災協会	なぐら 那倉	しょういち 勝一	日本防災処理工業会	会長	東京都
消防標識	いとう 伊藤	たかし 孝志	株式会社山陽標識製作所	代表取締役社長	広島県
服装装備	あかお 赤尾	たかし 隆	株式会社赤尾	代表取締役社長	埼玉県
ガス警報器	たかはし 高橋	よしのり 良典	新コスモス電機株式会社	代表取締役社長	兵庫県
インターホン	かねこ 金子	しげる 茂	能美防災株式会社	研究開発センター 第2制御 システム研究室長 兼 品質 統制室長付	埼玉県

## 2 関係機関・団体との連絡調整に関する事項

### (1) 消防庁等関係省庁との連絡等

消防行政等に関する情報については、事務局長会議等を通じ提供した。特に消防庁予防課の発出する通知等のうち、当消防機器業界に関係あるものは、その都度メール等にて工業会事務局等に送付するほか、消防関係団体の情報・連絡事項のうち当消防機器業界に関係あるものについても、必要に応じ情報提供するなど緊密な連絡調整を図った。

### (2) 日本消防検定協会との消防機器業務懇談会の開催

例年開催している消防機器業務懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により開催が中止された。



検定協会からは、2021年度主要業務重点事項、型式試験・型式適合検定等の申請状況及び日本消防検定協会役員・幹部一覧についての情報提供があった。

また、機器協会及び傘下会員14団体からは、令和3年度の重点業務・トピックスを取りまとめたものを検定協会に情報提供した。

### (3) 一般財団法人日本消防設備安全センターに対する協力

当機器協会の役員から、当センターの理事、評議員、表彰委員会委員等を派遣し、業務運営に協力した。また、月刊フェスクの編集委員会に参画し、消防機器業界関係の情報提供や執筆者の紹介等を行った。

### (4) 消防関係専門紙の皆様との懇談会について

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況等を踏まえ、開催を中止することとし、機器協会及び正会員団体の令和3年度の重点事項、トピックス等を取りまとめ、書面による情報提供を行った。

なお、情報提供を行った消防関係専門紙は、(株)SPジャーナル社、(株)消防時代、(株)近代消防社、消防文化社及び東京法令出版(株)の5社であった。

### (5) 消防関係団体等との連携、協力について

当機器協会の役員から、消防関係団体に理事、評議員、監事、監査役等を派遣し、その業務運営に協力している。

#### ア 理事

一般財団法人日本消防設備安全センター、公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会、一般財団法人日本防火・危機管理促進協会等

#### イ 評議員

公益財団法人消防育英会、一般財団法人日本防火・防災協会、一般財団法人日本防火・危機管理促進協会、消防試験研究センター等

#### ウ 監事・監査役

ISO/TC21協議会に監事として、日本フェスクサービス株式会社に監査役を派遣しそれぞれの業務運営に協力している。

#### エ その他

住宅防火対策推進協議会に構成員を派遣し、その業務運営に協力している。

## 3 防災思想の普及及び消防機器等の広報活動に関する事項

### (1) 全国火災予防運動の啓発

消防庁主唱による秋季及び春季の全国火災予防運動の実施に協力し、業界内外のPRを行った。

### (2) 令和3年度会員名簿の発行

正会員16団体及び賛助会員等当機器協会の令和3年度会員名簿(令和3年9月版)を1,100部作成し、会員その他関係者(消防庁、消防関係団体、消防関係専門紙等)に配付した。

### (3) 消防機器号外の発行

消防庁・日本消防検定協会・(一財)日本消防設備安全センターの幹部一覧、正会員及び賛助会員一覧を掲載した「消防機器」号外を8月及び1月に1,500部印刷し、会員その他関係者(消防庁、消防関係団体、消防関係専門紙等)に配付した。

### (4) 協賛団体としての協力

次の展示会・業務等について、協賛団体等として協力した。

- ① HOSPEXJAPAN2021 (第50回 日本医療福祉設備学会併設展示会)
- ② JAPAN SHOP 2021 (第51回 店舗総合見本市)
- ③ 防災推進協議会
- ④ 住宅防火対策推進協議会
- ⑤ 東京防災救急協会
- ⑥ (一社)全国設備業IT推進会

### (5) ホームページの更新

#### ア 更新

今まで掲載していた「日本の消防機器」に関する情報の刷新を行うとともに、機器協会の業務全般についての項目を追加した。

#### イ トップページの見直し

(ア) トップページから「日本の消防機器」を削除した。

※ デザインの変更

(イ) トップページのラベル及び小見出しを次の様にした。

- ① トピックス ※ 変更 → トピックス 目次 本文 一覧表(今までの)
- ② 全国消防機器協会について  
※ 変更 → ご挨拶 沿革 組織(役員名簿・正会員名簿) アクセス
- ③ 消防機器業について ※ 新規 → 概要
- ④ 消防機器等製品情報センター ※ 現状 → 概要 情報提供
- ⑤ 消防機器海外展開支援センター ※ 新規 → 概要 会員情報 情報提供
- ⑥ 日本の消防機器 ※ 新規 → 概要 会員企業へのリンク
- ⑦ 日本の消防機器(英語版)  
※ 新規 → リフレット 会員企業へのリンク(製品など英語版ページ)
- ⑧ リンク集 ※ 変更 → 消防関係団体 正会員団体 賛助会員
- ⑨ ディスクロージャー資料  
※ 変更 → 定款 前年度 事業報告書・決算報告書  
当年度 事業計画書・収支予算書

#### ウ 会員専用ページ等

全般的にデザイン、配置等を見直した。

## 4 消防機器等に関する情報提供業務に関する事項

消防機器等に関する情報提供業務として、日本消防検定協会からの受託業務と併せて、当協会の継続事業(会員に対する情報提供)として実施している。

なお、この業務は、消防機器等製品情報センターの業務として実施している。

また、情報提供に係る企画立案及び実行に係る業務等についての、内容の検討、確認等を行うために、運営会議を設置している。

#### (1) 運営会議の開催

毎月、原則として第2火曜日の事務局長会議の前に実施した。

運営会議は、各正会員団体15団体（7月から16団体）の事務局長、総務部長及び担当部長に加え、日本消防検定協会及び消防研究センターの代表者により構成している。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用等により、9回開催中5回を書面開催とした。

#### **第1回運営会議 令和3年5月11日(火) 【書面開催】**

- 1 令和3年度事業計画について
- 2 自主表示届出番号一覧表（令和3年7月）について
- 3 その他

#### **第2回運営会議 令和3年7月6日(火)15時から（ヤクルト本社ビル大会議室6階）**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 自主表示届け出番号一覧表（令和3年7月）について
- 3 予防技術講習会等の開催予定について
- 4 その他

#### **第3回運営会議 令和3年8月10日(火) 【書面開催】**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 消防機器等に関する研修会の開催について
- 3 その他

#### **第4回運営会議 令和3年9月7日(火) 【書面開催】**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 消防機器等に関する研修会の開催について
- 3 その他

#### **第5回運営会議 令和3年10月5日(火) 15時から（ヤクルト本社ビル大会議室6階）**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 消防法令改正関係資料（令和3年11月）について
- 3 消防機器等に関する研修会について
- 4 その他

#### **第6回運営会議 令和3年11月9日(火) 15時から（ヤクルト本社ビル大会議室6階）**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 令和3年度予防技術講習会の開催について
- 3 その他

**第7回運営会議 令和4年1月13日(火) 15時から (ヤクルト本社ビル大会議室6階)**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 令和3年度 消防機器等に関する研修会の開催結果について
- 3 令和3年度 予防技術講習会の開催中止について
- 4 資料集追録 消防法令改正関係資料集(令和4年2月)について
- 5 その他

**第8回運営会議 令和4年2月8日(火) 【書面開催】**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 令和3年度 消防機器等に関する情報提供業務完了報告書(案)について
- 3 その他

**第9回運営事務局長会議 令和4年3月8日(火) 【書面開催】**

- 1 前回議事録の確認について
- 2 令和3年度 予防技術講習会に関する業務完了報告書(案)について
- 3 令和4年度 消防機器等に関する情報提供業務事業実施計画(案)について
- 4 令和4年度 予防技術講習会・予防技術情報交換会事業実施計画(案)について
- 5 その他

**(2) 消防機器等に関する研修会**

令和3年度の研修会は、日本消防検定協会及び全国消防機器協会の共催として、次により実施した。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、研修会の時間を短縮し、かつ会場の定員を設定するとともに、意見交換会の開催を中止した。

ア 開催日時、場所、定員

(ア) 東京会場

1 1月12日(金) 14時から16時30分まで

アルカディア市ヶ谷 富士の間 3階 (定員150名)

(イ) 大阪会場

1 1月2日(火) 14時から16時30分まで

メルパルク大阪(新大阪駅前) カナーレ5階 (定員90名)

イ プログラム

◆開 会 14:00～

◆挨拶

一般社団法人全国消防機器協会 会長 金森 賢治

日本消防検定協会 理事長 市橋 保彦

◆講演 14:10~15:20

予防行政の動向について

消防庁 予防課 設備専門官 千葉 周平

== 休憩 15:20~15:30 ==

◆情報提供 15:30~15:50

型式適合検定等の不具合事例等について

日本消防検定協会 企画研究部次長 業務課長 仲川 貴雄

◆情報提供 15:50~16:20

全国設備業 IT 推進会の概要・設備業の IT 化の必要性等について

(一社)全国設備業 IT 推進会

東京会場 (株)ビジネス・ワン 代表取締役 太田 真二

大阪会場 石田データサービス(株) 代表取締役社長 井上 英明

◆情報提供 16:20~16:30

消防機器業界の話題について

(一社)全国消防機器協会 常務理事 鈴木 和男

◆閉会 16:30

ウ 研修会出欠の状況

東京会場 定員150名	申込者数	出席者数	欠席者数	欠席者/申込者割合(%)
	128	132	9	7.0
大阪会場 定員90名	申込者数	出席者数	欠席者数	欠席者/申込者割合(%)
	70	79	4	5.7%
合計	申込者数	出席者数	欠席者数	欠席者/申込者割合(%)
	198	185	13	6.6%

エ 資料の配付

研修会で配付した資料については、研修会に参加できない方であらかじめ資料の配付を希望された方に、次の通り配付した。

① 研修会テキスト 95件 (217部)

② 消防法令改正資料集 95件 (217部)

(3) 予防技術講習会・情報交換会

主として消防本部(都道府県消防主管部を含む。)において、主として予防業務に従事されている職員を対象とする講習会であり、主催は日本消防検定協会、全国消防機器協会は協賛として開催企画、準備、運営等を実施した。

ア 予防技術講習会・情報交換会の開催計画・準備

当初例年通りの規模等で2020東京オリンピック・パラリンピックの開催後である10月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や対策

等を考慮し、当初計画を次の様に変更した。

- ① 開催時期を令和3年10月から令和4年2月にすること。
- ② 参加募集人員を両会場とも約150名程度とすること。
- ③ 講習時間を3時間30分から3時間程度とすること。
- ④ 講習会テキスト・資料を希望者に配付すること。
- ⑤ 予防技術情報交換会は、開催を中止すること。

(ア) 予防技術講習会

- ① 東京会場 ⇒ 参加予定人数 約150名  
令和4年2月14日(月) 13時30分から16時30分まで  
アルカディア市ヶ谷 富士の間 3階
- ② 大阪会場 ⇒ 参加予定人数 約150名  
令和4年2月18日(金) 13時30分から16時30分まで  
TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 バンケット3A 3階

(イ) 予防技術講習会の開催概要 プログラム

1	東京会場	令和4年2月14日(月)	13時30分～16時30分	アルカディア市ヶ谷 富士(3階)
2	大阪会場	令和4年2月18日(金)	13時30分～16時30分	TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 バンケット3A(3階)
3	講習会プログラム			
13:30～13:35	挨拶	日本消防検定協会 理事長	市橋 保彦 淳	
13:35～14:20	予防行政の動向(その1)	住宅防火対策の推進等		
	消防庁予防課	(東京会場)	国際規格対策官 栗原 崇宏	
		(大阪会場)	予防係長 佐藤 翔紀	
14:20～15:05	予防行政の動向(その2)	違反是正及び防火管理制度関係		
	消防庁予防課	(東京会場)	違反処理対策官 金子 洋	
		(大阪会場)	企画調整係長 木村 友治	
15:05～15:15	休憩			
15:15～16:00	予防行政の動向(その3)	消防用設備等に係る技術基準関係		
	消防庁予防課	(東京会場)	設備係長 羽田野 龍一	
		(大阪会場)	設備専門官 千葉 周平	
16:00～16:30	日本消防検定協会の最近の取組み			
	日本消防検定協会	企画研究部	企画研究課長 大隅 美和子	

(ウ) 予防技術情報交換会 ⇒ 開催中止

イ 予防技術講習会の開催の中止

令和4年になり新型コロナウイルス感染症、特に変異型のオミクロンによる感染が急激に拡大し、1月7日に3県(沖縄、山口及び広島)に対し「まん延防止等重点措置」が適用され、新型コロナウイルス感染症対策が強化されたこと、東京圏、近畿圏をはじめ全国的に感染者が増加傾向にあること等、さらに参加していただく皆様をはじめ関係者の安全の確保を考慮し、令和3年度の予防技術講習会の開催を中止した。

(ア)開催中止の広報・連絡について

- ① 機器協会・検定協会のホームページに開催を中止する旨掲載した。  
時期 令和4年1月12日
- ② 全国消防長会 週刊情報に掲載を依頼した。  
時期 令和4年1月25日(火)に掲載
- ③ 参加申込済みの皆様に対し個別に連絡した。  
開始時期 令和3年1月17日から順次開始  
連絡手段 メール又はファックス

(イ)消防庁予防課に対し文章にて連絡

- ① 予防課長に対し、中止する旨の連絡をした。
- ② 予防課講師各位に、中止する旨の連絡をした。

(ウ) 関係資料の提供

受講申し込み者及び資料申込者に対しては、次の資料を送付した。

- ① 予防行政の動向等に関する資料(講習会テキストに代わるもの)
- ② 資料集 消防法令改正関係資料(令和3年11月)
- ③ 資料集追録 消防法令改正関係資料(令和4年2月)

ウ 資料の作成(予防行政の動向等に関する資料の送付による情報提供)

予防技術講習会で配付予定であったテキストに替えて、「令和3年度 予防行政の動向等に関する資料(令和4年2月)」を編集・印刷した。

(ア) 資料の目次は、次の通りである。

○ 令和3年度 予防行政の動向等に関する資料(令和4年2月)

日本消防検定協会  
一般社団法人全国消防機器協会

目次

- 1 予防行政の動向(その1) 住宅防火対策の推進等 消防庁予防課 予防係
- 2 予防行政の動向(その2) 違反是正の推進 消防庁予防課 違反処理対策官
- 3 予防行政の動向(その3) 消防用設備等に係る技術基準について 消防庁予防課設備係
- 4 日本消防検定協会の最近の取り組み 日本消防検定協会 企画研究部企画研究課
- 5 消防機器業界に関する情報提供 一般社団法人全国消防機器協会.

(イ)資料の仕様・印刷部数等

- ① A4版、151ページ(カラー印刷) 1,200部印刷
- ② 印刷した資料の内訳は、次の通りである。

提供先	部数
予防技術講習会関係	932部
東京会場申込者	(194部)
大阪会場申込者	(165部)
資料の申し込み	(573部)
消防庁予防課	15部

日本消防検定協会	30 部
各工業会等	176 部
運営会議用	20 部
その他	27 部
計	1,200 部

エ 資料の送付状況

予防技術講習会への受講申込者及び資料の配付希望者に対し、次により資料を送付した。

(ア)送付した資料は、次の通りである。

○ 送付状	
1 予防行政の動向等に関する資料（講習会テキストに代わるもの）	932 部
2 資料集 消防法令改正関係資料（令和3年11月）	805 部
3 資料集追録 消防法令改正関係資料（令和4年2月）	805 部
4 アンケート用紙	331 部

(イ)送付先の内訳

区 分	部 数
受講申込者（東京会場）	194 部
受講申込者（大阪会場）	165 部
資料申込	3点セット 446 部 予防行政の動向等に関する資料 127 部
合 計	3点セット送付 805 部 予防行政の動向等に関する資料 127 部 送付箇所数 330 箇所

オ 情報提供に係るアンケートの実施

資料の送付と併せて、アンケート票を送付した。その回答状況は、次の通りであった。

アンケート送付件数	回答件数（回答割合%）
330 件	149 件（45%）

(4) ホームページ等による広報

主として、機器協会ホームページ「会員専用ページ」において、情報提供を行った。

ア 消防機器等に関する研修会関係

主として、機器協会ホームページ「会員専用ページ」において、次の情報提供を行った。

- ① 消防機器等に関する研修会の開催予定 ②参加者の募集 ③研修会の開催結果  
④ 研修会で使用したテキストのデータ

イ 予防技術講習会関係



機器協会ホームページにおいて、次の情報提供を行った。

- ① 予防技術講習会の開催予定
- ② 予防技術講習会の受講受付
- ③ 予防技術講習会の開催結果

## 5 調査研究に関する事項

### (1) 消防機器等の開発改良又は、消防用設備等の設備・維持管理技術の普及向上に関する研究及び研修会の開催等

※ 前述の「4 消防機器等に関する情報提供業務」の業務と併せて実施した。

### (2) 消防機器業界団体保険の普及

団体保険（「全消機保障制度」）については、会員団体の各企業にパンフレットを配付し、申込を取りまとめた。今年度の結果は、次の通りである。

#### ア 生保関係

昨年度の3企業6団体54名から、2名の退会、7名の加入があり、合計5名増の3企業6団体59名となった。

#### イ 損保関係

昨年度の9企業10団体262名から、7名の退会、5名の加入があり、9企業10団体260名となった。

## 6 社会貢献に関する事業

令和3年度においては、住警器等の配付モデル事業を行った。

#### ア 申請・決定状況等

社会貢献委員会を令和3年3月19日（金）15時からアルカディア市ヶ谷 琴平(7階)で開催し、令和3年度社会貢献事業実施計画及び令和3年度住警器等配付モデル事業実施要綱決定した。

これにより、令和3年度住警器等配付モデル事業実施地区の募集をしたところ31都道府県61地区から応募があった。また、予備審査として、申請書に記載されている10項目を対象に所定の評価ポイント付けを行った。

住警器等配付モデル事業実施地区選定委員会を7月9日（金）に開催し、予備審査結果及び委員の審査等を基に17道府県20地区を選定し、住宅用火災警報器2,000個、住宅用消火器500本及び防災品500セットを寄贈した。

寄贈した住宅用火災警報器は一般社団法人日本火災報知機工業会から、住宅用消火器は日本消火器工業会から及び防災品(防災エプロン・防災アームカバー)は日本防災協会からそれぞれ提供を受けた。

#### イ 贈呈式・講演会の実施

令和3年度の住警器等贈呈式及び住宅防火対策講演会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を鑑み、開催を中止した。

## 7 消防機器業の名称の普及推進に関する事業

「消防機器業」の名称普及のために次の事項を行った。

### (1) 消防機器等に関する研修会

当機器協会の会員団体・企業等を対象とする研修会において、「消防機器業」についての情報提供を実施した。

### (2) 機器協会ホームページ

ホームページの更新に合わせて、新たに「消防機器業」の項目を設け、関係情報の発信を行った。

## 8 消防機器海外展開支援センターの運営に関する事業

国・消防庁が行う消防機器の海外展開に係る政策等に協力するとともに、機器協会の会員団体・企業の行う海外展開に関する事業に資する対象国の市場状況、基準認証制度の状況、手続き等の情報の収集・提供を行うなど、日本の消防機器の海外展開に資する業務を行うために、「消防機器海外展開支援センター」（以下「支援センター」といいます。）を令和2年4月1日に設置している。

### (1) 支援センターの事業内容

支援センターでは、消防機器の海外展開に資する次の業務を行う。

ア 国・消防庁の行う消防機器の海外展開に係る政策等の情報収集・提供

イ 海外展開に資する日本の消防機器に関する情報収集・提供

ウ 海外で行われる消防防災技術に関する展示会等の情報収集・提供

エ 海外の基準認証制度等に関する情報収集・提供

オ 海外展開に資する会員団体・企業に対する相談業務

カ その他消防機器の海外展開に関する業務

### (2) 支援センターの会員

支援センターは、機器協会の傘下会員団体・企業のうち、支援センターの設置目的及び消防機器の海外展開に資する業務に賛同して、会員登録をした特別会員及び正会員から構成している。

現在、会員は、特別会員10社及び正会員14社の計24社となっている。

#### ● 参考会員会社（順不同敬称略）

#### 特別会員

オリロー株式会社	株式会社赤尾	能美防災株式会社
株式会社初田製作所	株式会社横井製作所	ホーチキ株式会社
ニッタン株式会社	株式会社シバウラ防災製作所	
トーハツ株式会社	日本ドライケミカル株式会社	

#### 正会員

ナカ工業株式会社	株式会社吉谷機械製作所	浦野工業株式会社
日本機械工業株式会社	株式会社コーアツ	帝国繊維株式会社
帝人株式会社	櫻護謨株式会社	株式会社モリタ
モリタ宮田工業株式会社	船山株式会社	芦森工業株式会社
新コスモス電機株式会社	タマダ株式会社	

また、特別会員と正会員の役割は、次の様になっている。

◎ 特別会員

- ① 運営協議会委員・運営幹事会幹事として参画
- ② 事業計画・予算の提案・作成・審議・検討
- ③ 海外展開すべき国の提案
- ④ 海外展開対象国に対する要望・要請等の提案
- ⑤ 海外展開に関する行事(会議・交流会等)の企画・提案、優先参加
- ⑥ 海外情報等に関する優先入手

○ 正会員

- ① 海外情報等の入手
- ② 海外展開に関する行事(会議・交流会等)に関する情報と参加
- ③ 運営協議会及び運営幹事会に、オブザーバとして出席

(3) 支援センターの組織体制

支援センターには、運営協議会（議長金森賢治（ホーチキ（株）代表取締役会長）・副議長青山滋（トーハツ（株）取締役防災営業部長））及び運営幹事会を設け、海外展開に向けた具大的な事業を実施する。また、海外展開に関する事業を円滑に推進するためには、消防庁、消防関係団体との連携が不可欠であることから、消防庁、日本消防検定協会及び（一財）日本消防設備安全センターにオブザーバとして参加して助言等をいただくこととしている。

(4) 日本の消防機器に関するPR用資料の作成 について

海外展開のための資料として、会員各社が製造販売等をしている「日本の消防機器」について取りまとめた英語のパンフレットを作成し、海外の方が来場される国内の展示会、海外の展示会や大使館等（送付先については検討）に配付することとした。

支援センター会員24社の企業情報、製品情報等を掲載したパンフレットを編集し、1000部印刷を行った。

配付部数等

配布先	部数	内訳
特別会員	100部	10社×10部
正会員	70部	14社×5部
消防庁	10部	
関係者	20部	
予備（手持ち）	800部	
合計	1000部	

(5) ホームページに「消防機器海外展開センター」の項目の設置

機器協会のホームページを更新し、「消防機器海外展開支援センター」の項目を追加するとともに、当センターの設置目的、組織、会員及び日本の消防機器等の情報

を掲載した。

また、会員のラベル、紹介記事から、会員が指定するホームページへのリンクを構成した。

#### (6) 消防機器等海外展開セミナーの開催

消防庁予防課主催の令和3年度消防機器等海外展開セミナーについては、対面開催が中止され、書面による情報提供となった。

消防庁から提供された海外展開に関する情報を各正会員団体及び支援センター会員にメールで配信するとともに、機器協会会員専用ページに掲載した。

#### (7) ベトナム国ハノイ市における防災展への共同出展

8月25日(水)から28日(土)までにベトナム国ハノイ市区友情文化宮殿において開催予定のベトナム国防災展に JAPAN PAVILION として出展することについては、新型コロナウイルス感染症対策に伴う出入国制限やベトナム国における状況等を考慮し、出展等を計画している会員各社等の意向を確認の上、取り止めることとした。

その後、開催が9月29日(水)から10月2日(金)に延期されたが、さらに延期され、令和4年8月18日(木)～20日(金)にホーチミン市で開催予定とされている。

#### (8) 消防庁からの受託業務(その1)

「日本における超高層建築物や地下街に対する消防法令の体制」の翻訳に係る業務

ア 背景・目的

ベトナム国に対しては、消防分野における相互協力に関する覚書を締結するなど、協力関係が推進されている。さらに消防機器については、今までに、我が国の製品の紹介をはじめ基準認証制度や検査試験方法に関する情報提供などを行っている。

今般、ベトナム公安省消防救難警察局の60周年(1961年10月10日～2021年10月10日)を記念して、ベトナム公安省は、「消防技術と消火、救難装備の国際展示会」中で、「超高層建築物と地下施設の科学技術ソリューション」セミナーを開催する。

これに伴い、「超高層建築物と地下施設の防火管理・管理体制について(日本の経験をベトナムのため)」として、情報提供をしてほしい旨の要請を受けた。

イ 業務の具体的な内容

消防庁予防課が作成した「日本における超高層建築物や地下街に対する消防法令の体制」(日本語)を、本文及びスライドに整理し、ベトナム語に翻訳した。

- ① 本文 A4版 13ページ 約 8,000 字
- ② スライド 12枚 約 6,000 字

#### (9) 消防庁からの受託業務(その2)

「消火器の技術上の規格を定める省令他3件の規格省令」のベトナム語への翻訳業務

ア 背景・目的

ベトナム国に対しては、消防分野における相互協力に関する覚書を締結するなど、協力関係が推進されている。さらに消防機器については、今までに、我が国の製品

の紹介をはじめ基準認証制度や試験・検査方法に関する情報提供などを行っている。

今後、ベトナム国に対しては、具体的な技術援助として消防機器に関する基礎研修及び専科研修を行うこととしている。

これらの研修の教材として、規格省令のうち要望の多い品目についての情報提供に資するため、ベトナム語への翻訳を行うことを目的とした事業である。

#### イ 業務の具体的な内容

4件の規格省令をベトナム語に翻訳した。

- ① 消火器の技術上の規格を定める省令 A4・41ページ・文字数21,200
- ② 消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令 A4・6ページ 文字数3,460
- ③ 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令 A4・30ページ 文字数15,750
- ④ 住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令 A4・15ページ 文字数 8,400

## 9 その他

### (1) 令和4年 新年名刺交換会・新年互礼会の開催中止について

ア 次の通り開催することとし準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、多数のものが一堂に会し、会食スタイルで開催することが困難であることから、開催を中止した。

(ア) 令和4年 新年名刺交換会

令和4年1月6日(木) 15時から 明治記念館 富士の間

(イ) 令和4年 新年互礼会

令和4年1月11日(火) 15時から グランビア大阪 名庭の間

※ 関西圏消防関係者意見交換会 14時30分から

#### イ 開催中止に伴う対応

(ア) 開催の是非については、10月26日(火)に開催した第3回理事会において審議し、理事及び監事全員の合意の下、開催を中止することとした。

(イ) 開催中止の案内については、令和3年11月上旬に実施した。

- ① 消防関係機関、団体等の来賓の皆様には、開催の中止のご案内と併せて、令和4年消防高島暦を送付した。 → 180名
- ② 正会員16団体・会員企業等に開催の中止の案内を正会員事務局から提出の各会員企業に送付した。 → 約900通
- ③ 賛助会員84社には、開催の中止のご案内と併せて、令和4年消防高島暦を送付した。 → 84名

(ウ) 開催中止の案内を機器協会ホームページ(会員専用ページ)に掲載した。

#### ウ 令和4年消防高島暦の配付について

消防高島暦については、例年印刷し、新年名刺交換会、新年互礼会等において、参加した皆様に配付し、好評を得ています。

令和4年については、新年名刺交換会及び新年互礼会の開催が中止されたが、予定通り1400部印刷し、次の様に配付した。

- ① 来賓及び賛助会員には、開催中止の案内とともに送付した。

- ② 正会員16団体事務局に、配付希望を確認の上、送付した。
  - ③ その他、事務局長会議、消和会等において、関係者に配付した。
- エ 令和5年新年名刺交換会・新年互礼会の開催予定
- |         |              |       |             |
|---------|--------------|-------|-------------|
| 新年名刺交換会 | 令和5年1月10日(火) | 15時から | 明治記念館       |
| 新年互礼会   | 令和5年1月13日(金) | 15時から | ホテルグランヴィア大阪 |

## (2) 各団体事務局職員の合同懇親会

例年8月に正会員団体事務局職員等の交流を行うために行っていたが、本年は、新型コロナウイルス感染拡大等の状況を踏まえ、開催を見送ることとした。

## (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う対応について

令和3年度においても、前年度に引き続き「新型コロナウイルス感染症」の拡大状況や緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置の適用などの状況を踏まえ、当機器協会の事務局の勤務、業務等については、次のとおり実施した。

### ア 勤務対応

業務に支障が生じないように、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用等がされた場合には、在宅勤務や時短(6時間勤務)により対応した。

また、令和4年には、新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止重点措置等が適用されたこともあり、引き続き在宅勤務と時短(6時間勤務)により対応した。

### イ 理事会・定時総会

令和3年度第1回理事会は、緊急事態宣言発出期間内であったことから、書面による開催とした。

また、定時総会については、役員の改選期であること等を考慮し、書面表決書の提出と出席参加の併用で実施した。

### ウ 会長表彰式・祝賀会

緊急事態宣言発出期間内であったことから、開催を中止し、受賞者の皆様には表彰状、記念品等を送付した。

### エ 事務局長会議・運営会議

原則として、東京に緊急事態宣言が発出又はまん延防止等重点措置の適用がされている場合には、書面開催とした。

### オ 消防機器等に関する研修会の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大が小康状態となった11月に参加者の定員の設定、防止対策等の徹底等を行い、予定通り東京と大阪において、開催した。

### カ 予防技術講習会の開催

当初10月に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や緊急事態宣言等の発出等の状況を踏まえ、令和4年2月に延期した。

さらに、新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置が全国的に発出されたこともあり、関係者と協議のうえ開催を中止し、資料の送付による情報提供とした。

